

平成29年 第13回 当別町教育委員会定例会議事録

日 時 平成29年12月20日（水） 午後2時00分  
 場 所 役場3階 中会議室  
 出席者 本庄教育長、武岡教育長職務代理者、寺田委員、小林委員、佐々木委員  
 出席職員 山崎教育部長、北村管理課長、小出社会教育課長、須藤子ども未来課長、村上管理課主幹、有澤管理課主幹、水谷管理課主幹、小川社会教育課主幹、三浦社会教育課主幹、高島学校教育係長、高田学校教育係主査、米内学校教育係主査、櫻田一貫教育係長、浪岡給食センター係長、寺島子ども係長、栄木子育てサポート係長  
 傍聴者 0名

<p>【開会の宣言】 教育長</p>	<p>ただ今、委員全員出席しておりますので、これより平成29年第13回当別町教育委員会定例会を開催致します。</p>
<p>【議事日程】 教育長</p>	<p>日程につきましては、各委員に配付しています日程表により議事に入ります。</p>
<p>【日程第1】 教育長</p>	<p>日程第1、報告第1号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明) ただ今、議題となりました報告第1号平成29年度12月補正予算につきまして、提案の説明を申し上げます。 議案書につきましては、1頁をご高覧下さい。 本件につきましては、平成29年第12回当別町教育委員会定例会におきまして、協議案第1号として提案、委員各位のご了解をいただきました補正予算であります。 主な内容につきましては、燃料単価の上昇に伴う各小中学校など、施設に係る燃料費の増のほか、小中一貫校の建設にあたって、当別小学校と当別中学校の建物としての耐力度を把握するための調査委託費用などを計上し、それぞれ歳入・歳出の補正を行ったものであります。 なお、本補正予算につきましては、平成29年第5回当別町議会定例会において、12月12日に原案のとおり可決されましたので、委員会にこれを報告し、ご承認をいたごうとするものであります。 よろしく、ご審議をいただきまして、ご承認をお願いいたします。</p>

<p>教育長</p>	<p>ただ今、提案説明がありました。質疑を求めます。</p> <p>質疑を打ち切り、報告第1号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第1号は原案のとおり承認致しました。</p>
<p>【日程第2】 教育長</p>	<p>日程第2、報告第2号を上程致します。</p> <p>提案の説明を求めます。</p> <p>教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明)</p> <p>ただ今、議題となりました報告第2号平成29年度全国学力・学習状況調査結果報告書の作成につきまして、提案の説明を申し上げます。</p> <p>平成29年度全国学力・学習状況調査につきまして、当別町の調査分析結果を報告書にまとめましたので、委員会に報告するものであります。</p> <p>よろしく、ご審議をいただきまして、ご承認をお願いいたします。</p> <p>なお、詳細につきまして、管理課長から説明いたします。</p>
<p>教育長  管理課長</p>	<p>管理課長</p> <p>ご説明申し上げます。</p> <p>議案書につきましては、2頁となりますが、別冊の平成29年度全国学力・学習状況調査報告書をご高覧下さい。</p> <p>はじめに1頁目ですが、本調査の目的、対象学年、内容などを掲載しております。当日は、小・中学校合わせて246人中231人が参加したところです。</p> <p>2頁と3頁の小学校の分析、10頁と11頁の中学校の分析につきましては、先月11月22日に開催の教育委員会定例会後の学習会におきまして、ご説明申し上げましたので、詳細は割愛させていただき、前回時間の都合上、説明のできなかった学習状況の一部をご説明申し上げます。</p> <p>はじめに、4頁から9頁までには、小学校における児童の生活習慣や学習環境などに関して掲載しております。調査項目の結果を全国と比較し、「優位な項目」と「改善が必要な項目」に分け、特徴的な項目を掲載しております。</p> <p>4頁の「学習に関して」の「優位な項目」の一番上「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」との間</p>

いに、「当てはまる」と回答した児童は、24.5%と全国と比較して8.4ポイント低い状況にあります。これは、「書くこと」対して苦手意識をあまり持たなくなっている傾向にありますので、引き続き授業のみならず、長期休業中の宿題に「読書感想文」を書かせる指導を行うこととしております。

一方で、5頁の「改善が必要な項目」の一番下「読書は好きですか」との問いに、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童は、63.6%と全国と比較して10.7ポイント低い状況にあります。すべての教科の基礎となる読解力をつけさせるには、読書が有効であり、司書の活用や学校図書室の環境整備、子供たちが本に親しめる工夫など、読書活動に力を注ぐ必要があると考えております。

6頁の「家庭学習に関して」は、「学校の授業時間以外に1時間以上勉強している」や「家で学校の宿題をしている」と回答した児童が、全国より高い傾向にあります。これは、日頃からの家庭学習の取組みが定着されつつあることが伺えますし、併せて、児童の基礎学力の定着に結びついていることが考えられます。

7頁の「基本的な生活習慣について」は、「テレビ、ゲームなどに4時間以上費やす」と回答した児童が、全国よりも高い傾向にあります。また、朝食や就寝・起床など規則正しい生活習慣面では全国より低い傾向にあることから、保護者を通じて子どもと家庭内におけるルール作りや家庭教育の重要性など啓発していきたいと考えております。

8頁の「指導に関わる項目について」ですが、「総合的な学習の時間」では、自主的な課題設定や情報収集、研究発表の学習活動の取組みに関して、全国より高い傾向にあることから、児童は課題解決に向けて自分なりの見通しが持っております。これは、主体的な学びにつながっており、今後とも取組みを進めていきたいところでもあります。一方では、「先生が良いところを認めてくれているか」、「先生は、授業で理解していないところ、テストで間違ったところを分かるまで教えてくれるか」との問いには、全国より低い傾向であることから、先生が子ども一人一人にしっかりと目を向け、良いところを認め、ほめてあげる。また、分かるまできめ細やかな指導を行なうなど、先生として当たり前のことをしっかりと行うことが必要であると考えております。

9頁の「その他について」は、「外国に興味がある」児童の回答が、全国よりも高い傾向にあります。これまで行ってきた外国語教育、ALTなどに力を注いできたことが回答に表れてきていることが伺えますし、今後も継続して行っていきたいと考えております。一方では、「地域への関心」や「地域への貢献意欲」が、全国より低い傾向にあります。本年度当別地区・西当別地区ともにコミュニティ・スクールが発足しました。大人や

子供も含め、これからは、ますます地域とのかかわりが増えてくることで、「地域への関心や貢献意欲」が高まっていくものと考えております。

次に、12頁から16頁までには、中学校における生徒の生活習慣や学習環境などに関して掲載しております。

12頁の「学習に関して」は、「数学の授業の内容は良く分かりますか」との問いに対して、「当てはまる」と回答した生徒が、全国より高い傾向にあります。小学校における学習の定着が、そのまま中学校においてもその効果が出ていると捉えております。一方で、改善が必要な項目が多く見受けられます。国語の授業において、「自分の考えを書くとき、考えの理由を分かるように気を付けたか」、数学において、「数学ができるようになりたいか」などの回答が、全国より低い傾向にあります。これらの調査結果から、主体的な学びの部分に課題があるので、学ぶ楽しさを生徒に感じさせられるような授業を行なうことが大切であると捉えております。

13頁の「家庭学習について」は、「家で学校の宿題をしている」、「家で授業の復習をしている」との問いに対しての回答が、全国より高い傾向にあり、小学校の定着が中学校においても継続して出来ていることが伺えます。一方で、普段の家庭学習の時間が全国よりも短いことが分かりました。ただ、「学習塾に通っていない」生徒が、全国より多い状況でありながら、生徒の成績は着実に伸びてきており、家庭学習の定着が進み、それが結果として表れていることが伺えます。

14頁の「基本的生活習慣について」は、「携帯やテレビゲームなどの使用等についてのルールを守っているか」との問いに対しての回答が、全国より高い傾向にあり、良い状況になっております。一方で、「テレビゲームなどに4時間以上費やす」と回答した生徒が、全国よりも高い傾向にあり、本来家庭で行うべきルール作りが比較的緩いと考えられることから、家庭と連携し、規則正しい生活習慣の確立を図る必要があると考えております。

15頁の「指導に関わる項目について」は、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください」との問いは、小学校と異なり、全国より高い傾向にあります。生徒一人一人にきめ細やかな指導が行なわれていることが考えられます。中学校における指導方法を小学校と共有するなど一貫した指導を進めていきたいと考えております。一方では、「生徒間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」との問いは、全国より低い傾向であることから、主体的、対話的な学びに関して、授業改善を急がなくてはなりません。

16頁の「その他について」は、「人の役に立つ人間になりたいですか」との問いの回答が、全国よりも高い傾向にあります。学力と自己肯定感の

	<p>高さは相関関係があり、学力の伸びが自己肯定感の高さにつながっていると考えられます。さらに、子どもたちが将来の夢をしっかり持っていることも自己肯定感の高さの要因と考えております。一方で、「地域行事の参加」や「ボランティア活動」などが、全国より低い傾向にあります。小学校と同様に両地区で、コミュニティ・スクールが発足し、今後地域とのかかわりが増えることで、「地域への関心や貢献意欲」が高まっていくものと考えております。</p> <p>17頁の「当別町学力向上プラン」は、中段に「具体的な方策」を掲載しております。学校においては、「教科系統表による義務教育9年間を見通した指導」のほか、8項目の「やるべきこと」、教育委員会においては、「小中一貫教育の推進」のほか、10項目の「つとめること」を記載しており、学校と教育委員会が協力、連携し、子どもたちの学力の向上に向けて邁進していくこととしております。</p> <p>本報告書につきましては、本日の委員会でご承認をいただいたのち、ホームページで公表します。また、学校からも同様に公表する予定となっております。簡単ですが、報告書の説明とさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>ただ今、提案説明がありましたが、質疑を求めます。</p>
武岡委員	<p>学校からも報告とありましたが、これは学校ごとのデータの報告ということでよろしいでしょうか。</p>
管理課長	<p>それぞれの自校の結果について、それぞれのホームページで公表するということでございます。</p>
武岡委員	<p>学習状況調査の結果というのは、学力調査の結果と同じくらい大事なものだと考えます。学力調査については、3年間の経年変化で出ておりますけれども、学習状況調査についてもそのような観点から出すことはできるのでしょうか。</p>
管理課長	<p>学習状況調査の過去3年間の経年変化の報告ということですが、質問項目が年によって変わりますので、これまで同様、公表はしないと考えております。質問項目等の状況によっては、今後検討をしていきたいと考えております。</p>
武岡委員	<p>来年度以降、経年変化について出していただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。</p>

小林委員	<p>細かいところですが、差の部分の表記として、白四角、三角とかありますが、見づらいと思いますので、マイナスやプラスといった表記にできないでしょうか。</p>
管理課長	<p>見づらいとのご指摘でしたので、こちらについては、速やかに修正をし、公表することとします。</p>
寺田委員	<p>4頁一番上の「説明文を書くことは難しいと思いますか。」の問いに、しかたがないのかもしれないが、全国より優位な回答であるのに比較上、マイナスと出てしまうのが、気になりました。</p> <p>小学校・中学校ともに「先生が認めてくれていますか」の回答が少ないのがとても気になる場所なので、学校にもご連絡をいただけたらと思います。</p>
管理課長	<p>4頁の上段のマイナスの表記方法については、致し方ないのかなと考えております。「先生が認めてくれているか」というところについても、先ほどご説明したとおりでございます。先生の伝えたいことがしっかりと子どもたちに伝わるように学校に指導をしていきたいと考えております。</p>
佐々木委員	<p>4頁の「国語の勉強は大切だと思いますか」との問いには、皆さん大事だと回答していますが、5頁の「国語の勉強は好きですか」との問いになると好きと答える子どもが全国よりも低くなるのは、楽しい勉強の教え方をすれば、好きになれるのかなと思いますので、もう少し先生方にそのことを伝えていただければと思います。</p>
管理課長	<p>ご指摘はごもっともだと思いますので、学校にしっかりと伝えていきたいと考えております。</p>
武岡委員	<p>具体的に子ども理解の方法について、各学校にどのように指導されているのか教えてください。</p>
教育部長	<p>教育委員会には、学校教育指導員も配置されていますので、指導員と学校への具体的な指導の方法について十分打ち合わせをして、指導をしてみたいと考えております。</p>
武岡委員	<p>長期の休業期間を利用して、子ども理解の研修会を医療大学の先生をお呼びして開催したことがあると思いますが、その成果も非常に上がったと聞いておりますけれども、教育現場に長く携わっている方をお呼びして、</p>

<p>教育長</p>	<p>若い先生方に具体的に指導していただければと思います。</p> <p>教育委員会としては、調査結果を踏まえた学校への指導がなければ、成果につながらないと考えていますので、教育委員会事務局と学校管理職が集まる、校長会や教頭会という定期的な会議を通じて、これまでどおり継続的に指導を行っていきたいと考えております。</p> <p>夏と冬の教職員研修会でもそのようなことはできると思いますし、そういった機会を活用しながら進めていきたいと考えております。</p> <p>質疑を打ち切り、報告第2号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第2号は原案のとおり承認致しました。</p>
<p>【日程第3】 教育長</p>	<p>日程第3、議案第1号を上程致します。</p> <p>提案の説明を求めます。</p> <p>教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明)</p> <p>ただ今、議題となりました議案第1号当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱につきまして、提案の説明を申し上げます。</p> <p>議案書につきましては、3頁から4頁までを、別冊につきましては、1頁をご高覧下さい。</p> <p>当別町学校給食センター運営委員会委員は、平成29年12月21日をもって任期満了となりますので、当別町学校給食センター条例第6条の規定に基づき、委員11名を委嘱するため、委員会の議決を得ようとするものであります。</p> <p>よろしく、ご審議をいただきますよう、お願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>ただ今、提案説明がありましたが、質疑を求めます。</p> <p>質疑を打ち切り、議案第1号は原案のとおり決定してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、議案第1号は原案のとおり決定致しました。</p>

<p>【日程第４】 教育長</p>	<p>日程第４、議案第２号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明) ただ今、議題となりました議案第２号当別町文化財調査審議会委員の委嘱につきまして、提案の説明を申し上げます。 議案書につきましては、５頁を、別冊につきましては、２頁をご高覧下さい。 当別町文化財調査審議会委員は、平成２９年１２月１９日をもって任期満了となりますので、当別町文化財調査審議会条例第３条の規定に基づき、委員５名を委嘱するため、委員会の議決を得ようとするものであります。 よろしく、ご審議をいただきますよう、お願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>ただ今、提案説明がありましたが、質疑を求めます。  質疑を打ち切り、議案第２号は原案のとおり決定してご異議ございませんか。 (「異議なし」の声) 異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、議案第２号は原案のとおり決定致しました。</p>
<p>【日程第５】 教育長</p>	<p>日程第５、議案第３号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明) ただ今、議題となりました議案第３号当別町教育委員会表彰規則の一部を改正する規則制定につきまして、提案の説明を申し上げます。 平成３０年度から行う教育委員会表彰に係る表彰区分等を改めるため、規則の一部を改正しようとするものであります。 よろしく、ご審議をいただきますよう、お願いいたします。 なお、詳細につきましては、管理課長から説明します。</p>
<p>教育長  管理課長</p>	<p>管理課長  ご説明申し上げます。</p>

	<p>議案書につきましては、6頁から11頁まで、別冊は、3頁から11頁までをご高覧いただきながらご説明いたします。</p> <p>このたびの規則改正につきましては、教育委員会表彰に係る表彰の表彰の区分等につきまして、改正するものであります。</p> <p>はじめに、教育功労表彰の廃止になります。改正の理由につきましては、例年11月3日に行われております当別町表彰におきましても「町政功労者賞」や「貢献賞」などの表彰を実施しており、教育功労者表彰を町の表彰に置き換えることで、住み分けを図るものであります。</p> <p>次に、教育功績表彰の区分変更になります。これまでは、「教育功績表彰（芸術文化功績）」と「教育功績表彰（スポーツ功績賞）」としておりましたが、これらを「芸術文化功績賞」と「スポーツ功績賞」の2つの賞に改め、表彰区分を分かりやすくするものです。</p> <p>併せて、表彰基準につきましても、現在の実情に合わせて、整理をするものであります。</p> <p>次に、青少年善行表彰の名称及び対象の変更になります。これまで児童・生徒を限定しておりましたが、教育全般に関し、大人も含めて他の模範となる善行を行ったものを表彰の対象とし、名称を「教育善行賞」とするものであります。</p> <p>次に、感謝状の授与に関する基準の変更になります。これまでは、「金品等の寄付は30万円以上」としておりましたが、金額にかかわらず、感謝状を授与できるようにするものであります。</p> <p>その他、字句の修正や表彰の区分等を改めたことに伴う別記様式の変更を行うものです。</p> <p>なお、本規則の改正につきましては、平成30年度教育委員会表彰から適用することとしております。</p> <p>以上です。</p>
<p>教育長</p> <p>小林委員</p> <p>管理課長</p>	<p>ただ今、提案説明がありましたが、質疑を求めます。</p> <p>受賞基準にかかる内規を教えてくださいませんか。</p> <p>表彰の受賞基準の取扱いについてですが、規則の11条委任というところで、教育長決定ということで、内規で定めさせていただきたいところが、お手元にお配りした資料になります。</p> <p>大会の規模については、出場数が、10個人又は14団体以上のものを対象といたします。上位入賞については、おおむね上位1割に入る成績であるもの、入賞については、おおむね上位3割に入る成績のもの、としています。</p> <p>書道は、全国学生書道展については、最高賞、特別賞1席から5席、特</p>

	<p>別賞を表彰対象とする。全国書道コンクールにつきましては、最高賞、特別賞1席から5席、特別賞となります。北海道選抜珠算競技大会については、1位から10位までを表彰対象として考えてるところでございます。</p>
武岡委員	<p>内規の10個人、14団体が参加というところの基準は、どのようなことから決めているのでしょうか。</p>
管理課長	<p>過去の大会基準に照らし合わせまして、決めているものです。</p>
武岡委員	<p>過去の大会基準とは、どのようなものですか。</p>
管理課長	<p>過去の表彰に該当したそれぞれの大会の規模を勘案したところでは。</p>
教育部長	<p>あまり小さな大会については、表彰規程に該当することが適当ではないと判断をしたことが過去にございましたので、内規に加えさせていただいたものです。</p>
武岡委員	<p>10個人とは10作品ということですか。</p>
管理課長	<p>10作品以上が対象ということでありませう。</p>
武岡委員	<p>国際書道協会については、何千作品もあったと思います。全道大会レベルで10作品とかはあり得ないと思いますので、もう少し精査をして次回国際書道協会の作品数についてもデータを揃えて説明をしていただけたらと思います。</p>
教育長	<p>内規については、再度説明させていただくこととして、規則改正の部分については、いかがでしょうか。</p> <p>質疑を打ち切り、議案第3号は原案のとおり決定してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、議案第3号は原案のとおり決定致しました。</p>
<p>【日程第6】 教育長</p>	<p>日程第6、協議案第1号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。</p>

<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明)</p> <p>ただ今、議題となりました協議案第1号当別町ふとみ保育所の私立認定こども園化につきまして、提案の説明を申し上げます。</p> <p>当別町ふとみ保育所につきましては、平成23年度から公設民営方式に変更し、社会福祉法人高陽福祉会による運営を行ってまいりましたが、平成31年度より公設民営方式による保育所から私立認定子ども園とするため、委員会に協議を図るものです。</p> <p>よろしく、ご審議をいただきますよう、お願いいたします。</p> <p>なお、詳細につきましては、子ども未来課長から説明します。</p>
<p>教育長</p> <p>子ども未来課長</p>	<p>子ども未来課長</p> <p>ご説明申し上げます。</p> <p>議案書につきましては、12頁から13頁をご高覧願います。はじめに、この度の協議案「ふとみ保育所の私立認定こども園化」の趣旨についてご説明いたします。太美地区には、以前より幼稚園機能に対する地域ニーズが強くありました。このことを踏まえ、太美地区における幼保小中の一貫した教育環境を構築し、より充実した教育活動を行うため、ふとみ保育所を幼稚園機能を有する認定こども園へ移行することについての方針を定めようご提案するものでございます。</p> <p>前回の勉強会では、先行事例として本町地区ですでに認定こども園として開園している私立認定こども園当別夢の国幼稚園についての検証として、開園前後の園児数の推移や教育・保育内容の比較などについてご説明をさせていただいたところですが、今回、夢の国幼稚園利用者アンケートなどの資料をご説明させていただく中で、ふとみ保育所の今後の方向性についてご審議いただきたくよろしくお願い申し上げます。</p> <p>初めに、別冊資料に基づきご説明をさせていただきます。</p> <p>別冊資料の12頁をご高覧願います。私立の認定こども園の検証といたしまして、町内の先行事例であります認定こども園当別夢の国幼稚園の評価についてでございます。当別夢の国幼稚園では、開園した平成23年度から、英語や乗馬、地引網、当別高校と連携した田植え・稲刈り体験など様々な体験活動を取り入れた幼児教育活動を行っております。また、各学期ごとに自己評価を行い、運営改善にも取り組んでおり、このあとご説明をさせていただきます保護者アンケートの結果からも高い満足度を得ているところでございます。</p> <p>13頁から15頁には、夢の国幼稚園の「平成28年度の自己評価シート」を掲載させていただいておりますが、この自己評価シートにつきましては、保育教諭が各々自己評価を行い、それを職員間で共有し、園全体の自己評価としてまとめ、それをもとに課題を見定め、運営改善に生かすも</p>

のとして作成されております。

次に16頁をご高覧願います。こちらには、今月、夢の国幼稚園が実施した保護者アンケートの集計結果を添付させていただいております。このアンケートにつきましては、全園児196名を対象に実施され、回収率79%の集計結果でございます。主な注視すべき設問項目につきましてご紹介させていただくと設問1の、「幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の是非について」では、96%以上の方が現在利用している認定こども園制度は良いと感じている結果が出ております。また、次に設問2の（1）では、「通園児が楽しんで園生活を送れているか」の設問においても96%以上の保護者が楽しんでしていると回答しており、付された意見として子供が家で幼稚園ごっこをしたり、行事を心待ちにしているなどの意見が記載されております。

次に17頁の中段でございます設問（3）の「保育の内容」については、95%以上の方が良いと回答しており、日常の保育内容において、子どもが興味をもって楽しめる活動が多いことや異年齢交流を通して思いやりの心が出てきたなどの意見が付されております。次の設問（4）では、園の特色でもある「行事や自然・社会体験について」でも95%以上保護者が良いと感じており、付された意見としては、札幌や関東ではこれほど多くの行事を行うところは無いなどの意見がございます。そのほか、食事や健康・衛生面・防犯などそれぞれの設問に対しましてもかなり高い満足度の回答結果となっております。

そのほか、21頁の年間行事予定表と追加資料として提出させていただきました、保育課程や年齢別の指導計画につきましても、子供の成長過程に応じて、自立心や共生心を養うことを目標に掲げ、多くの体験活動を取り入れていることが伺えるものでございます。

続きまして、民営化に伴う財政的メリットについての、ご説明をさせていただきます。申し訳ありませんが再度別冊の12頁をご高覧願います。中段、2項目目になりますが、町の財政負担額について、平成28年度のふとみ保育所運営にかかる実績費用で試算した場合、平成28年度のふとみ保育所運営に係る町の負担額につきましては、国が保育所などの運営費用として定めております保育単価いわゆる公定価格を事業者に委託費として支出しておりますが、そこから利用者の保育料収入を差し引きし、約8,011万8千円が平成28年度の町の負担経費となっております。

仮に民営化した場合には、国や道の補助金収入が入りますので町の負担は、保育単価・公定価格の約24%程度となり約2,347万8千円程度となり、5,664万円程度、毎年軽減されることが見込まれます。これは、市町村立の保育所や幼稚園、認定こども園には、国や道の補助金は対象となりませんが私立の園の場合は、補助金の対象となる制度設計となっ

ていることによるものでございます。

次に、ふとみ保育所の私立認定こども園化の方針を決定した場合の今後のスケジュール案についてでございますが、仮にすべて順調に進めることができれば最短で平成31年4月の認定こども園移行が可能と考えているところでございます。これらご説明をさせていただきました「私立認定こども園の先行事例の評価・検証」として、利用者からの高い満足度と様々な体験活動を取り入れた質の高い教育活動が行われていることが伺えることから、すでに委託により民間運営をしているふとみ保育所においても、同様に利用者の高い満足度と質の高い教育活動を行い、加えて太美地区における幼保小中へと一貫した教育をより推進できるものと考え、ふとみ保育所の認定こども園化を進めようとするものでございます。以上の検証結果を踏まえて、「ふとみ保育所の私立認定こども園化方針案」につきましてご説明させていただきます。

議案書に戻っていただき、議案書の13頁をご高覧願います。方針案につきましては、背景・検討の経緯・そして方針とまとめさせていただいておりますのでご説明をさせていただきます。検討に至る背景ですが、かねてより太美地区住民から、幼稚園機能を持った幼児教育施設の設置を望む声が多数寄せられていました。町においてはそういった住民の意思を反映すべく、当別町幼稚園・保育所計画などに現ふとみ保育所の認定こども園化の必要性を明記し、検討を進めることとしたところです。それを受け、平成28年度教育委員会内に子ども未来課が新設されたことを機に、教育委員会での検討が開始され現在に至っているところでございます。

検討の経過、先行事例の評価ですが、平成23年度に町立幼稚園・保育所を私立化し開園となった「私立認定こども園当別夢の国幼稚園」を自己評価結果シートなど幼稚園提供資料及び教育委員会による視察などから評価いたしました。その結果、自然体験を含む体験活動を特色として質の高い教育・保育活動を展開していること、自己評価により毎年教育活動の評価・点検を行い教育の改善に結びつけていること、小学校との接続に熱心に取り組んでいること、保護者から園の教育方針をはじめ幼稚園教諭や保育士が高い評価を受けていることが明らかとなりました。そういった実態から、ふとみ保育所の私立認定こども園化は、当別町の幼児教育を進めるうえで、大変有効な施策であるという結論に至ったところです。

最後に方針ですが、太美地区の保護者や地域住民の強いニーズ、当別町における先行事例の評価から当別町教育委員会として、ふとみ保育所の私立認定こども園化を町長部局等と協議を進めることとします。ただし、教育委員会の施策である幼保小中一貫教育を進めるため、「公私連携幼保連携型認定こども園」に指定することとします。

開園の目途は、平成31年4月とします。ここにありますが、公私連携幼

	<p>保連携型認定こども園とは、運営法人と市町村が協定を締結し一定の担保を行うことが可能な制度であり、市町村が立ち入り検査の実施や、是正勧告など厳格な指導監督を行うことが可能な形態のとして認定こども園法で位置づけられた認定こども園です。</p> <p>以上、当別町ふとみ保育所の私立認定こども園化についてのご説明とさせていただきます。</p> <p>よろしくご審議をお願いいたします。</p>
教育長	ただ今、提案説明がありました、質疑を求めます。
武岡委員	<p>前提として、夢の国幼稚園の活動がだめだということではありませんが、いくつか質問をさせていただきます。</p> <p>一つ目は、どこが中心となり決めるのかということについては、教育委員会と町長部局が決めるということによろしいのでしょうか。</p>
子ども未来課長	教育委員会の方針を受けて、政策調整会議を経て、町長の判断を仰ぎながら進めさせていただきたいと考えております。その後、議会との協議もでてくると思います。
武岡委員	夢の国幼稚園のカリキュラムだとか、評価だとかいただきましたが、これらは、認定子ども園にするとこのようにメリットがあるのだという資料だと解釈をしていますが、当別夢の国幼稚園がいいということではないと解釈しておりますが、この解釈で間違いないでしょうか。
子ども未来課長	私立の子ども園での活動内容という資料の意味で提出しており、当別夢の国幼稚園だけがいいという資料ではありません。
武岡委員	現在、この企業の他に子ども園を開園したいといった企業があるのであれば、教えていただきたい。
子ども未来課長	具体的には、きていません。
武岡委員	正式に公募するということですね。
子ども未来課長	選定を進める一般的な流れとしては、募集をかけて、プロポーザルを実施し、運営内容を評価しながら決定することとなります。
武岡委員	資料の1番には、当別町の先行事例の検証となっており、追加でいただいた資料を含め、あたかも議論を誘導するような印象を与えないでしょうか。

	<p>というのは、当別夢の国幼稚園を押しているような印象がないのかどうか。共通の土俵で資料をお互いに出し合っ、公正厳正に決めていくことが大事だと思います。ただ今回のような資料の出し方をされますと、夢の国幼稚園では、こんなにいいことをやっていますよと。ですからこの資料については、選考段階では、互いに議論を戦わさせるようなやり方がフェアだと思いますがいかがでしょうか。</p>
子ども未来課長	<p>複数の事業者が手を挙げた場合については、プレゼンテーションをする場を設けて、どこの事業者が当別町にとっていいのか公正に内容を評価して決定するといった運びになります。</p>
武岡委員	<p>質問のもう1点は、年間指導計画と保育課程が資料にあります。これだけで、園の中身を評価できません。日々どのようなことをやられているのか、全くわかりません。選定の際には、そういった資料もきちんと提出をいただいて、検討していただけたらと思います。</p>
小林委員	<p>財政的なメリットが一番大きいのかなと思いますが、予算編成の時に、この浮いた費用がそのまま教育委員会の予算から減らされるのではなく、しっかりと守っていただいて、その上で、この5,600万という予算をどのように使用されるのかお伺いしたいと思います。</p>
教育部長	<p>削減できた費用について、すべて教育委員会で使えるようになるとの確約はありません。削減できた部分は、貴重な財源でありますので、子どもたちの健やかな成長のために使用できるべく、予算要望をしていきたいと考えております。</p>
寺田委員	<p>その予算は、小中一貫校の取組推進に充てていただくように要望します。</p> <p>確認をしたいのですが、かねてより太美地区住民から、幼稚園機能を持った幼児教育施設の設置を望む声が多数寄せられていました。とあるのですが、その根拠は、どういったものでしょうか。</p>
子ども未来課長	<p>当別町幼稚園保育所計画を作成する段階でアンケート調査を実施する中で、太美地区に幼稚園機能を持った施設を望む声が上がっております。同計画書の中で、ふとみ保育所を将来的に認定子ども園化するという議論を進めるということを明記しています。</p>
佐々木委員	<p>その時のアンケートは、太美地区だけで行ったのですか。</p>

子ども未来課長	<p>その際に作成した計画については、当別全町に関わる幼稚園保育所の計画ということで、平成21年作成で当別夢の国幼稚園の移行の関係も含めて明記しているものです。</p>
小林委員	<p>施設は譲渡するのでしょうか。</p>
子ども未来課長	<p>ふとみ保育所の園舎は国の補助金が入って建設されていますが、有償で売却したり貸付すると補助金の返還が生じるという問題があることから、建物は無償譲渡としながら、敷地については、貸与という形にならないか、検討しているところです。</p>
小林委員	<p>修繕費はかからなくなるのでしょうか。</p>
子ども未来課長	<p>譲渡後は、かからなくなります。</p>
武岡委員	<p>提案文書のつくり方ですが、私は、先ほど述べたような印象を受けました。高揚福祉会があたかもいいような印象を受けたのです。私は高揚福祉会がだめだとは言っていません。ただ後からされるのであれば、資料の出し方がこれでいいのかについては、検討をしていただきたいと思えます。この反省を含めた資料の出し方は、一方的ではないでしょうか。</p> <p>資料を出す上では、今のような説明をしっかりとされて、これはふとみ保育所を認定子ども園とした場合のメリットであり、これで事業者が決まった訳ではありません。と、お伝えいただきたい。</p> <p>これは、教育委員会が方針を決める上での資料であって、プロポーザルに出ていく資料ではありません。</p> <p>公設の幼稚園を認定子ども園化した先行事例がありますので、その判断が正しかったのかどうか評価検証する資料です。</p> <p>質疑を打ち切り、協議案第1号は原案のとおり了解してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、協議案第1号は原案のとおり了解致しました。</p>
<p><b>【閉会の宣言】</b> 教育長</p>	<p>以上で、本日の日程は、すべて終了致しました。 平成29年第13回当別町教育委員会定例会を閉会致します。</p>

<p>教育長</p>	<p>引き続き、事務局から報告・連絡等をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆管理課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成30年当別町新春町民の集いについて</li> <li>○教育委員会新年会の開催について</li> <li>○インフルエンザによる学年閉鎖について</li> </ul> </li> <li>◆社会教育課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成29年第5回当別町議会定例会一般質問について</li> <li>○平成30年当別町成人式について</li> <li>○当子連第47回新春こどもカルタ大会について</li> <li>○平成29年度当別町少年の意見発表会について</li> </ul> </li> <li>◆子ども未来課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成29年度多世代交流クリスマス会について</li> <li>○子どもプレイハウス環境教室について</li> </ul> </li> </ul>
<p>教育長</p>	<p>次回の定例会の日程であります、平成30年1月24日水曜日午後4時から大会議室での開催を予定していますので、宜しくをお願いします。</p> <p>以上で、すべてを終了させていただきます。お疲れ様でした。</p>

閉会 午後3時23分